

北海道は9月になると朝夕は秋の気配を感じますね。全国的にはまだ猛暑が続いています。こんなに気温が高いと人の生活も大変ですが、農作物や海の生き物にも影響が出てきてないかな…と心配になります。子育て支援センターの畑の作物は、とても順調なようで安心しています。収穫祭で春に植えたじゃがいもを掘りましょう。そしてみんなでふかしたおいもを味わいましょう。



☆いい感じです「ひだまり」看板☆

ただいま乾燥→素焼き段階であります。

8月5日の「陶芸でひだまり看板を作ろう」には、支援センターに来ている親子、小学生、メロンキッズさん37名が集まってくれました。粘土で成形して文字を作り、足形、手形を押して看板を作りました。9月のミニ講座では、いよいよ色付け作業をします。みなさんですてきな作品に仕上げましょう。



9月1日は防災の日。『もしも』は『いつも』

8月21日のミニ講座は「防災と防災食」を防災士の西野直樹氏と佐藤佳澄管理栄養士をお招きして実施しました。近頃は地震や水害など、いつどこで起きてもおかしくありません。備えておくことは本当に大切だと思いました。今回出席できなかった方に役立つ情報をいくつか紹介します。

○おススメ備蓄食品・・・羊かん(片手で食べられるもの、長期保存タイプあり)

・野菜ジュース(不足しがちな食物繊維の供給源になる。長期保存タイプあり)

○耐熱用ポリ袋での調理「バッククッキング」の活用・・・離乳食も作れます。

レシピはQRコードから見ることができます。⇒



Q・避難所にオムツ、離乳食はありますか？

A・訓子府町の備蓄にオムツとキューブタイプの粉ミルクが少しありますが、離乳食はありません。→救援物資が届くまでの最低3日分の用意はしておきましょう。

(離乳食の備蓄は2週間分が推奨されています)

Q・災害時にどの情報を信じたらよいですか？

A・国や北海道の出しているHP、訓子府の防災メールに登録しておくといいです。

サポートメール
@防災くんねっば



LINE 版